


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立盲	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	オンライン交流会をしよう		
	単元(題材)の目標	東北地区の同世代の生徒との交流をとおして関わりを広げる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	学部の在籍が本学級1名のみで、日頃から同世代の生徒との関わりが少ない。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	・P C (オンライン用) ・web カメラ ・マイク ・テレビ (画面表示、スピーカーを兼ねる)		
	使用したアプリケーションの名称	ZOOM		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	I C T 機器 (ネットワーク通信) により、普段関わる機会の少ない同世代の生徒との交流を図る。		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本生徒は全盲のため、画面を見ることは難しいが、声の聞こえる方向に相手の顔があるよう、生徒の顔とカメラの高さを合わせ、表示用テレビを直線上に配置した。これにより、相手にもまっすぐ向いた生徒の表情を配信することができた。</li> <li>・生徒の発声を確実に拾うことができるよう、マイクの配置、設定を工夫した。</li> <li>・同世代の、同じ障害種同士の交流の場となった。</li> </ul>			